

# ツーソン日本語補習校

## 2019年度 年間報告

### ごあいさつ

今年で5年目を迎えたツーソン日本語補習校は本年度も多くの方々のご協力を得まして、無事に終業式を迎えることができました。後期後半はコロナウィルスの影響でオンライン授業にシフトしスタッフにとっても学ぶべきことが多かった一年でした。今まで同様本校の存在意義に理解を示し、子供たちが必要とする日本語教育の場を提供するべく、多くの時間と労力を費やし、学校運営に貢献して下さった講師陣、アシスタントそしてボランティアの皆様には感謝の意を表します。どうか来年度も引き続き皆様のご理解ご協力の程よろしくお願い致します。つきましては、2019年度の活動報告をさせていただきますのでご査収下さい。

2020年6月吉日

補習校代表 マックナイトひとみ&エスピノサみなみ



10月のハロウィーンにて

### 本校の目的

ツーソン近郊地域在住の日本人の日本語能力の維持と発達を支援するべく、日本の学校環境にできるだけ近い状態で、日本の教科書も用いながら授業を行い、家庭での日本語指導を支援すること。またより多くの地域市民が日本文化や言語のおもしろさを経験できるプログラムの発展に貢献すること。

### 目標

#### 学業

個に応じたきめ細かい指導で日本語を使う楽しさを体験させ、国語能力の向上と日本文化の理解を通して、多文化理解を深め、積極的に自己表現ができる国際社会をたくましく生きる人間の育成

#### 安定した資金

個人のニーズに応じた教室活動の実践を可能にするための資金源を確保し、無駄のない透明性のある資金繰りの実現

#### 健全な組織

教師、アシスタント、ボランティアが気持ちよく働ける環境作りを通して質の高い人材を確保することと共に在校生とその家族との連携を重視した組織づくり

### 会計報告

	2019-20	2018-19
<b>収入</b>		
学費	\$ 15,910	\$ 11,185
協賛金	\$ 2,565	\$ 1,350
ファウンドレイジングその他	\$ 1,288	\$ 4,376
<b>収入計</b>	<b>\$ 19,763</b>	<b>\$ 16,912</b>
<b>支出</b>		
人件費	\$ 11,976	\$ 9,674
家賃保険ライセンス等	\$ 2,162	\$ 2,125
学校用品行事等	\$ 3,811	\$ 1,821
その他	\$ 304	\$ 760
<b>支出計</b>	<b>\$ 18,253</b>	<b>\$ 14,165</b>
<b>前年度繰越金</b>	<b>\$ 6,617</b>	<b>\$ 3,870</b>
<b>2020年6月総残高</b>	<b>\$ 9,092</b>	<b>\$ 6,617</b>

### 2019年度のハイライト

#### にほんごかふえ開設

開校当初から大人向けの日本語学習の場を提供することは、本校の目標であり、地域の皆さんの願いでもありました。熱意あるボランティアスタッフのお陰で、ついに2020年1月に「にほんごかふえ」を開設し、成人の方向けの日本語会話グループが始まりました。継続型の授業ではなく、お茶を飲みながらトピックに沿って日本語で会話を練習する場で、1回につき5ドルとお手頃な価格と、都合のつくときにいつでも参加できるという気軽さから、大学生から社会人まで様々な方が集まりました。補習校の授業日に初級、上級各1時間ずつの時間を設け、基本の挨拶から社会問題にいたるまで日本語ネイティブのスタッフを中心に会話が弾みました。今後も日本語会話の上達を目指す多くの方にこの機会を是非ご利用いただければ幸いです。詳しい情報はホームページから「にほんごかふえ」のページをご覧ください。

#### 日本祭り

昨年度までファンドレイジングの一環として、食品販売とベンダーとして参加していたツーソン日本祭りでしたが、お馴染みのベンダーテーブルに加え、ゲームコーナーを担当しました。けん玉や福笑いをはじめとする日本の伝統的なゲームや書道体験コーナーを設け、スタンラリー形式で行われ、子供だけでなく大人も日本ならではの遊びを楽しんでいました。日本文化・伝統の伝承、共有という学校の本来の目的を日本祭りを通して果たすことができ、さらに補習校の存在意義を再認識できるイベントとなりました。祭りのオープニングでは本校の子供たちが合唱「にじ」を披露し、大きな歓声を浴びました。ベンダーテーブルでのお箸袋や日本の小物販売などで売り上げた\$900は、教室活動、運動会、学芸会など生徒にすべて還元される形で使っていきます。みなさまのご協力本当にありがとうございました。



### 2020年度へ向けて

#### 持続的學校経営とこれからの補習校

本校は学校のNPO化に向けて徐々に動き出していますが、学校運営に加え新しい組織編成という大仕事を抱えることは、時間も掛かります。アリゾナ大学、デビスモンサン空軍基地を有するツーソンという土地柄、日本人が多く在住するツーソンですが、日本人の転入転出が激しいことも現状に挙げられます。需要が高まる国際科に加え、にほんごかふえの開設など、地域のニーズに応えるためには、質の高いスタッフの確保は欠かせません。開校5年を迎えた今、現状を維持するだけでなく、カリキュラムの向上、新プログラムの発展のためにいかに持続した経営ができるか考慮しなければなりません。そして本校の活動をより多くの地域住民に対して周知し、学校発展に必要な人材と能力、それに伴う経費の確保をできるような確で実施可能な戦略が求められています。

#### 2019年度協賛者様一覧

南アリゾナ日本文化振興会 様  
EMRO USA Effective Microorganisms 様  
ツーソン日本人教会 様  
バレンシア・ウチダラジオサービス 様  
グロスご夫妻 様  
匿名希望 様

#### ボランティア

飯田めぐみ 伊藤真由美 榎波斉臣 榎波志保 小袋伊織  
橋口昌樹 ラウマン・ジャスティン バトラー利恵  
ビクターソン明子 松山貴代子 サクソン・マリー

#### スタッフ

シュワルベ・イーサン ネンみき 橋口けいこ  
ピーター利沙 ブシェット真由美 リー美晴